





## とっさの病気やけがに対応できるように 県内三地区で 『安全教育研修会』を開催

講師 林 信宏先生



○滑川上市・立山地区  
9月7日(土)  
滑川市立東部小学校

○小矢部地区  
11月5日(火)  
小矢部市交流プラザ

○高岡地区  
11月6日(水)  
高岡市役所

当会では、安全教育研修会を、各地区のPTAと連携し3年間で一巡する形で実施しています。今年度は右記地区において実施しました。PTA活動中や自然災害等で事故やケガに遭遇した際、一人一人のとっさの行動が大切な命を救います。そうしたことはいつ起きるかわかりませんから、それに備える大事な研修会です。

今年度の安全教育研修会では、PTA親子安全会の事業内容紹介ならびに日本赤十字社の林講師による救急法実技を受講しました。

当会事業紹介では、三事業を通して、みなさんが安心してPTA活動に参加できるようサポートをしていることや、DVD貸出、広報紙等で安全啓発活動を行っていることを再認識しました。救急法実技では5〜6名のグループを作り、傷病者発見からAED使用による蘇生法について、林講師から熱のこもった指導を受けました。自身、地元消防団員として普通救命講習を受講していましたが、直近の受講からは既に十年以上経過していました。今回、最新の知見に基づく一次救命処置の研修を受けたことで、知識がかなり古くなっていることとアップデートが必要であることを痛感しました。いつ自分が救命場面に遭遇するかわからないからこそ、その際に適切な処置が行えるよう、知識・技能を備えておく必要があると思いました。

## 寄付金の募集

- 1 目標額 50万円
- 2 用途 就学奨励金に充てます。
- 3 期間 令和7年3月31日まで
- 4 金額 (1) 個人の皆様…1口 5千円  
(2) 法人・団体の皆様…1口の金額の定めはありません。
- 5 お申込み方法 ホームページに申込書がありますので、郵送もしくはFAXでお送りください。

PTA親子安全会では、修学への意欲をもつ子供たちのより一層の支えとなるよう、就学奨励金を給付しています。昨年度は小・中学生61名に給付することができました。今後も給付者数の拡大、給付金額の増額などを図っていく必要があります。この就学奨励金に充てる目的で、皆様からの寄付金を募集しています。皆様の格別のご理解とご支援をお願いいたします。

- 寄付金は随時受付をしています。ホームページに申込書がありますので、ダウンロードをしていただき、記入の上郵送もしくはFAXで当会にお送りください。後日、払込用紙を送りますので、所定の金融機関または郵便局でお支払いください。
- 寄付金に対する税制上の優遇措置が受けられます。詳しくはホームページの「寄付金募集のお願い」をご覧ください。富山県PTA親子安全会にお問い合わせください。
- 寄付していただいた個人、法人、団体で、希望される方をホームページや広報紙等で公開いたします。申し込みの際に希望を確認いたします。

安心があると、PTA活動はもっと楽しい!



### 申請忘れは ありませんか?



PTA主催の行事だけでなく、PTAとしての学校行事への協力や各種PTA研修会への参加、また、PTAが共催した地域のイベント等であっても災害見舞金を給付しています。児童・生徒・保護者はもちろん、教職員の方も対象となります。

また、行事だけでなく、その行き帰りの際に起こった災害も対象となります。

- ★災害見舞金の請求は、ケガが完治するまで待たなくて大丈夫です!
- ★災害が発生した場合はすぐに医療機関で診察を受け、診療書(第5号様式)にその状況を記入してもらい、災害報告・見舞金請求書(第3号様式)とPTA会長名の行事開催案内文を同封のうえ、学校を通じて事務局までご送付ください。
- ★災害発生より3年以内なら申請可能です!

給付の対象となる事例や給付までの流れなどは、当会のリーフレットなども参考にしてください。リーフレットはホームページからもダウンロードできます。

### 編集後記

9月7日に開催された安全教育研修会で「AED」についての話があり、とても参考になる考え方がありました。それは「AEDを自分が使用することができるだけでなく、私たちが暮らしている街のどこにAEDが設置されているか知っておくだけで人命救助に繋がる」ということです。

実際に使用したいとなった場合でも、AEDがどこに設置されているかわからないというケースが多々あるようです。日ごろ自分がよく買い物をするお店、利用する施設等のどこにAEDが設置されているか、子供と一緒に探して覚えておくだけでも人命救助に繋がります。私自身も子供にこのことを伝え、自分の住んでいる町のどこにAEDが設置されているか探しているところです。

(広報委員 山林 哲也)

